



プロジェクト名称

すみだの'楽'づくりプロジェクト

プロジェクト活動概要

東京都墨田区で、総合的なまちづくり、という意味をもつ「防災もまちづくり」の実現のために、防災という共通課題をきっかけに専門家やNPO、行政、地域住民、企業などが学生を介してつなぎ、最終的に「学生が広げた輪（ネットワーク）から地域が繋がり続ける」ことを目標に掲げ、活動を行っています。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① Twitter、Instagram の投稿をそれぞれ 40 個
- ② 防災遠足の参加者数において、子供 30 人、おとな 50 人
- ③ YouTube の動画投稿を 6 本

目標に対する進捗について 300 字以内で記入

- ① Twitter の投稿数は、防災遠足の報告のツイートを 1 件、Instagram についても防災遠足の活動報告の投稿を 1 件投稿しました。防災遠足の結果だけを投稿してしまいましたが、来年は準備の段階から SNS で宣伝を行うことを考えています。
- ② 今年の防災遠足は 3 年ぶりに対面開催をすることができました。防災遠足の参加者は子供が 16 人、大人 52 人の計 68 人に参加していただきました。参加者数で見ると大人は目標人数を達成することができました。
- ③ YouTube の動画投稿数は現段階では 0 本です。SNS と共に、メディアの活用の仕方を見直したいと思います。



SDGs への取り組み

《SDGs との関連項目》



「4 質の高い教育をみんなに」に関する取り組みとして、防災遠足を通じて、墨田区に住んでいる子供たちに“防災の大切さ”を伝えることができたと考えています。墨田区で活動している私たちだけでなく、実際に墨田区に住んでいる大人の方と交流することで、地元の人だから感じる危険なこと、気をつけていきたいこと、というものをお伝え出来たと思います。

「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」に関する取り組みとして、今期から始めた新規プロジェクト「みずとも」において、水害が発生した際に起こりうること、またその予防策について話し合い、案を出し合いました。

「11 住み続けられるまちづくりを」に関する取り組みとして、防災遠足での情報提供です。自分たちで自然災害に対するリスクを分析し、それを発信していくことで、地元の方々の暮らしのお手伝いをさせていただきました。

「12 つくる責任 つかう責任」に関する取り組みとして、普段の会議などでも出る成果物は基本的にデータで共有し、ペーパーレスに取り組みました。

「13 気候変動に具体的な対策を」に関する取り組みとして、新規プロジェクト「みずとも」において、気候変動によって引き起こされる水害について、水害とはどのようなものか、また起きた場合どのようなことをすればよいか、ということの案を出し合いました。



○みずとも（通年）

今期から、新規プロジェクト「みずとも」を立ち上げました。テーマは水害であり、名前の由来は『みず(水)と友達』です。墨田区は水害が起きるリスクの高いエリアです。災害となれば水は怖いものですが、それを逆にとり、水と友達、つまり水のことをよく知ることで、水害に対して適切に備えようという目的があります。この3ヶ月では水害にたいする知識をつけたうえで、水害対策、予防に的を絞り、課題を出し合いました。夏明けごろまでは、作業を続けていましたが、防災遠足での「人手不足による質の低下」という反省を受けて、1つのイベントに全員で取り組もうと思い、一時活動を中断しています。

○防災遠足（9月17日実施）

昨年度に引き続き、防災遠足を行いました。防災遠足とは、当団体が主催する防災イベントです。墨田区は災害発生時に特に大きな被害が予想される地域です。災害の危険性が高い墨田区木造密集市街地において、実際に避難経路を歩くことで、まちの魅力を感じつつ、避難所と避難時の行動を確認しながら、地域の方々と交流するイベントです。昨年はオンライン開催でしたが、今年は3年ぶりに対面での開催が実現しました。東向島を中心に歩くBルートと、鐘ヶ淵を中心に歩くCルートに分かれ、それぞれ異なる道順で東白鬚公園を目指しました。ルートの中でいくつかポイントを設定し、防災にまつわるクイズを出題しました。また、地元の方々のご協力もあり、そのエリアや防災に関する解説などをさせていただきました。東白鬚公園で合流した後は、防災団地の解説や簡易トイレの設置と流水を体験していただきました。今年度の参加団体は11団体で、当団体を含め、68人に参加していただきました。



写真1 防災遠足本番の様子



成果まとめ、今後の活動計画など

【成果まとめ】

この半年は、昨年のオンライン活動とは異なり、対面でのイベント開催を行えたことが、本団体として一番喜ばしいことでした。墨田区を拠点としていながらも、昨年はほぼ墨田区でイベントの開催や参加が難しく、もどかしい思いをしていました。しかし、この半年は防災遠足に関連して、何度か墨田区に足を運ぶことができました。やはり、現地に訪れ、自分の目で墨田区の現状を見ることで、自分たちが何をすべきか、を明確にすることができます。また、地元の方々の交流を行うことで、地元の方々の生の意見を聞くことができる貴重な機会を獲得できたと考えております。学生を通じて地域をつながたいという団体としての理念に沿い、地元の方々に貢献できるような活動をこれからも行っていきます。

【今後の活動計画】

OSNSの活用

Twitter、Instagram、YouTubeのアカウントを持っていながら、この3ヶ月間の投稿はあまり芳しくありませんでした。自分たちの団体を宣伝するということも、墨田区において地域と人のネットワークを広げるきっかけになりうると思っています。まずは今までの活用の仕方を見直し、投稿頻度や投稿内容を充実させ、多くの人に認知されるような取り組みをしていきます。

〇みずとも

今年度のメンバーはクリエイティブ性に富んでいると去年の活動を通して感じていたので、防災風呂敷の経験をもとに新たな「商品・イベント」の企画を進めています。墨田区の抱える災害問題として挙げられる水害に注目して、災害時に不便なことや事前にできたらいいことなどを話し合い、ターゲットを絞り込む作業中です。今後はメンバーと話し合いを重ねながら、ビジョンをはっきりさせ、活動の質を上げていきたいと思えます。